

# 第4章 1

## 助け合って生活するために②

副読本 32 - 35 ページ

ねん 年      くみ 組      ばん 番      なまえ 名前

### 1

今日の学習で、「わかったこと」「気づいたこと」「思ったこと」を書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

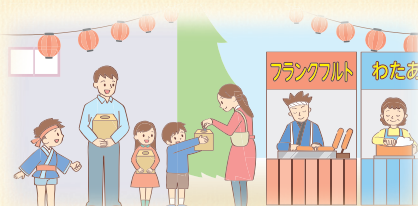
道徳・学級活動

### ぼくとお父さんの ボランティアかつどう

3月11日、東日本で大きな地しんがおきました。ぼくは、その時学校の教室にいました。ガタガタとたくさんゆれたので、つくえの下にもぐりました。すごくこわかったです。地しんがおきてから、ぼくはお父さんたちのボランティアを手つだいました。一回目と二回目は、中新田の子どもまつりと、小の田でほ金かつどうをしました。しんさいにあった人たちに元気がってもらいたくて、大きな声でがんばりました。たくさんの人たちがほ金をしてくれてうれしかったです。ほ金をしてくれた人たちは、とてもやさしい人だと思いました。そのお金でひさい地の人たちがたずかってほしいと思いました。三回目は、お父さんの友だちと、いっしょに、

石のまきのみなと小学校に行きました。みなと小学校には、ほ金かつどうであつまったお金で、小の田でとれたやさいやつけもの、アイスクリームやなつどうをもって行きました。みんなすごくよろこんでくれました。おいしいやさいをたくさん食べてがんばってほしいと思いました。またみなと小学校に行ったときは、なかよくなった友だちと、いっしょにあそんで元気にしてあげたいです。そして、これからもボランティアかつどうをお父さんと、いっしょにつづけて、いって、みんなを笑顔にしたいです。

(作文宮城60号 特別編「あの日の子どもたち」より)



第4章 助け合い・共に生きる